

こおりまち

議会だより

令和6年冬号 VOL.135



議会議員紹介



議会ホームページ

12月定例会 2

議会報告会・意見交換会 18

新年の挨拶

議長 原 賢志

新年あけましておめでとうございます。今年一年のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。昨秋に改選となり、新たな議会構成でスタートしたところであります。今後も町民の皆さまから信頼され期待される議会活動に努めてまいります。

今後とも皆さま方のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

副議長 川名 静子

新年明けましておめでとうございます。

今年の干支は「辰」、「龍」ともいわれ「正義感」や「信用」を表すとか。議会は今年も町民皆さまの幸せを願い、「開かれた議会を目指して」活動してまいります。「一年の計は元日にあり」と言われますが、干支にちなんで町民の皆さまと共に議会も、「昇り龍」の様に「躍進」を目指していききたいと思っております。

12月定例会

令和5年12月5日～12月11日

条例制定

◆条例の主な内容

◎下水道事業の設置等に関する条例

将来にわたって持続かつ安定的な下水道事業の運営を行うため地方公営企業法の一部を適用する事により経営状況及び財務状況の明確化並びに経営基盤の強化をはかる事を目的とする条例設置である。

・経営の基本

下水道事業は常に企業の経済性を発揮するとともに公共の福祉を増進するように運営されなければならない。

条例改正

◆改正の主な内容

◎桑折町職員の給与に関する条例の一部を改正

◎桑折町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正

以上2件は、県人事院会勧告に伴う条例改正である。

補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億8,845万3千円を追加し、予算総額を66億3,295万5千円とするもの。

《主な歳入》

- ・地方創生臨時交付金 8,499万7千円
- ・がんばるふるさと・桑折応援寄附金 5,018万円
- ・県権限代行事業負担金返還金 1,235万円
- ・災害救助費等負担金 1,038万1千円

◎国民健康保険税条例の一部改正

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための、健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、子育て世帯の出産時における保険料負担の軽減、次世代育成支援等の観点から出産する被保険者にかかる産前産後4か月期間相当分の保険税の均等割り額、所得割額を免除する措置について改正する。

・伊達地方衛生処理組合地域振興協力金 1,000万円

・原発事故に係る損害賠償金 670万5千円

・森林環境交付金 1,292万9千円

《主な歳出》

- ・住民税非課税世帯等への臨時特別給付事業（物価高騰支援） 7,931万2千円
- ・基金管理費 6,688万5千円
- （がんばるふるさと・桑折基金積立 5,018万円
- ふるさと振興基金積立 1,000万円
- 文教施設建設基金積立 670万5千円
- ・財政管理費 2,373万9千円
- ・道路維持管理費 1,500万円
- ・小学校管理総務費 1,287万1千円
- ・職員人件費 2,793万7千円

国民健康保険特別会計（事業勘定）（第3号）

歳入歳出予算の総額に、それぞれ3万円を追加し予

算総額を13億4,614万円とするもの。

《歳入》

- ・繰越金 3万円
- 《歳出》
- ・償還金及び還付加算金 3万円

介護保険特別会計（保険事業勘定）（第3号）

歳入歳出予算の総額に、それぞれ865万円を追加し予算総額を18億2,262万3千円とするもの。

《主な歳入》

- ・繰越金 697万3千円
- 《主な歳出》
- ・総務管理費 336万3千円
- ・介護予防サービス等諸費 350万円
- ・償還金及び還付加算金 128万5千円

半田財産区特別会計（第1号）

歳入歳出予算の総額に、それぞれ158万9千円を追加し予算総額を201万3千円とするもの。

《主な歳入》

- ・財産売却収入 80万6千円
 - ・繰越金 93万9千円
- （次ページにつづく）

提出議案

令和5年12月第7回定例会は12月5日から11日までの7日間の会期で開催された。提出された議案は、条例制定1件、条例改正4件、補正予算5件、陳情2件、発委1件の計13件を審議した。

陳情 審査結果

《主な歳出》

- ・総務管理費 158万9千円

すべての医療、介護従事者の処遇改善と人員増を求める陳情

（陳情者）

福島市五月町2―5

健康保険証廃止の中止を求める陳情

（陳情者）

福島市渡利番匠町15―2
福島県社会保障推進協議会
会長 佐藤和久

医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める意見書

政府は、看護師や介護職員など社会基盤を支える労働者が、その役割の重要性に比して賃金水準が低い状況であるとし、ケア労働者の賃上げ事業に踏み出し、令和4年10月からは診療報酬と介護報酬の臨時改定を行い、「看護職員処遇改善評価料」と「介護職員等ベースアップ等支援加算」を新設しました。

しかし賃上げ対象が限定され、「看護職員処遇改善評価料」においては、就労看護師約166万人の35％程度である57万人しか対象にならず、施設数でみれば、17万8千余りある医療施設の内対象は2720施設とわずか1.5％程度に過ぎません。コロナ禍において国民のいのちや健康を守るために必死に奮闘してきたのは、一部の施設や職種ではありません。

毎年のように発生している自然災害時の対応や、新たな感染症に備えるためにも、平常時から必要な人員体制の確保が求められています。

福島県では「令和7年度の介護職員充足率」推定が74.1％と全国最下位で、必要数の4分の3に届かない状況にあります。

医療・介護従事者の賃金引き上げなど処遇の改善で人材を確保し、安全・安心の医療・介護体制を築くため、診療報酬・介護報酬の引き上げを行うよう求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年12月11日

福島県伊達郡桑折町議会

（提出先）
内閣総理大臣
厚生労働大臣
財務大臣
総務大臣

選挙

・選挙管理委員及び同補充員の選挙任期 令和6年1月24日（令和10年1月23日）

選挙管理委員当選人

- 平井 吉衛
- 小竹 利勝
- 國分美知子
- 佐藤 武明

選挙管理委員補充員当選人

- 第1順位 山室 芳子
- 第2順位 岡崎 忠一
- 第3順位 佐藤 善一
- 第4順位 阿部 敏則

追加議案

・手数料徴収条例の一部を改正
戸籍・除籍電子証明提供

討論

賛成 5
反対 6

反対

佐藤 武朗 議員

反対の立場で討論する、認定こども園関連については、議決された事案でありしっかり前に進めるべきと考えている。今回の選挙活動のなかでも認定こども園関連の反対意見は伺っていない。

賛成

川名 静子 議員

開園1年延期、経済・社会情勢に左右されるのが民間企業だ。教育の場にあつては不安を与えることなく

安定した経営が一番必要である。町には「桑折町15歳のめざす姿」という教育目標がある。民営がどうこうは言わないが、町営はこの目標を目指して保育所、幼稚園とも子供たちを育てていと思う。この桑折町で安心して子を産み育て、就労が出来る環境を作るべきだ。民営のこども園があつても町営保育所は残す必要があると考え賛成する。

賛成

川村 滋道 議員

令和3年にこの計画が出された時にウクライナ戦争による資材高騰、大幅設計変更、地下埋設物等の除去、県や国への補助金の再申請を誰が予想したか。民営化のリスクは今後の少子化で更に懸念される。「保育所民営化に反対し町営で維持発展させる」町民千四百名の署名の声をいまこそ反映させるべきである。よってこの決議に賛成する。

臨時会

第6回 10月26日(木)

◆請負契約の一部変更

◎伊達崎小学校災害復旧工事
事請負契約を一部変更した。

契約金額9,346万8千100円を1億1,090万4千200円に変更した。

第8回 12月21日(木)

条例改正

◆改正の主な内容

◎桑折町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁済に関する条例の一部を改正する条例
◎桑折町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

以上2件は、県人事院勧告に伴う町議会議員及び町三役の期末手当支給率の条

例改正である。

補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,123万2千円を追加し、予算総額を66億5,418万7千円とするもの。

《歳入》

・地方創生臨時交付金 2,155万7千円
・財政調整基金繰入金 ▲32万5千円

《歳出》

子育て応援商品券給付 令和6年4月30日迄児童(0歳から18歳)1人あたり1万円の商品券給付(対象1500人)

出産・子育て応援交付金

1,691万7千円
妊娠・出産届出時それぞれ5万円の計10万円相当給付(国・県交付金対象)
・(令和5年4月～9月の出生)対象18名
・(令和5年4月～9月の妊娠届出)対象21名
32万5千円

国連総会停戦決議(12月12日)の実現を求める決議

桑折町は「恒久平和(日本国憲法前文)」を願い、非核平和の町宣言を行っている。

本議会はガザ地区におけるイスラエルとハマスの大規模衝突により、人命が深刻な危機的状況にあることを深く憂慮している。

去る12月12日の国連総会の緊急特別会合は、人道目的の即時停戦決議を国連加盟国のうち日本を含む153カ国の圧倒的賛成多数で採択した。

その主な内容は

- 1 人道的即時停戦の要求
- 2 国際法および国際人道法遵守とイスラエル、パレスチナ双方の民間人保護
- 3 すべての人質の即時かつ無条件の解放
- 4 人道的アクセスの確保 などである。

本議会はこの決議を全面的に支持し、日本政府を始めすべての国連加盟国が、この決議に基づき、即時停戦と人道上の危機的事態解決のため行動するよう強く求める。

以上決議する。

令和5年12月21日 福島県伊達郡桑折町議会

上水道総務費

上水道事業に対する電力価格高騰支援事業(内之馬場浄水場の動力費・高圧電力契約高騰分補助)令和5年度使用量+令和4年度比単価高騰分(負担額)

75万円

商工振興対策費

運送事業者等支援金交付(燃料高騰による影響を受けている町内運送執行社等への支援)

・トラック運送、貸切バス、タクシー・計11件

356万5千円

発議第2号

・国連総会停戦決議(12月12日)の実現を求める決議

提案者 川名静子
賛成者 斉藤謙

佐藤武朗

半沢正保

全会一致で採択された。

左の決議文による。

議案審議結果表

令和5年第6回桑折町議会臨時会(10月26日)

○全会一致で可決の議案

議案名		討論者
議案第49号	桑折町立伊達崎小学校災害復旧工事(第3期)請負契約の一部変更について	
	閉会中の所管及び所掌事務調査の申し出について	

令和5年第7回桑折町議会定例会(12月5日～11日)

議員名	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	斉藤謙	半澤高	川名静子	原賢志
一般質問者	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	—

○賛否の分かれた議案

議員名	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根田ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	斉藤謙	半澤高	川名静子	議長	可否
議案名													
発議第1号 町立保育所等の存続発展を求める決議(案)	○	○	●	●	●	●	○	●	○	●	○	—	否決

○：賛成

●：反対

□：討論者

○全会一致で可決の議案

議案名		討論者
議案第50号	桑折町下水道事業の設置等に関する条例	
議案第51号	桑折町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
議案第52号	桑折町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
議案第53号	桑折町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	
議案第54号	令和5年度桑折町一般会計補正予算(第4号)	
議案第55号	令和5年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)	
議案第56号	令和5年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第3号)	
議案第57号	令和5年度桑折町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	
議案第58号	令和5年度桑折町半田財産区特別会計補正予算(第1号)	
議案第59号	桑折町手数料徴収条例の一部を改正する条例	
発委第10号	医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める意見書(案)	
	閉会中の所管及び所掌事務調査の申し出について	

※報告は採決なし

令和5年第8回桑折町議会臨時会(12月21日)

○全会一致で可決の議案

議案名		討論者
議案第60号	桑折町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
議案第61号	桑折町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	
議案第62号	令和5年度一般会計補正予算(第5号)	
発議第2号	国連総会停戦決議(12月12日)の実現を求める決議(案)	

まちの展望を 見通す一般質問



斉藤 謙 議員

身の丈に合った財政運営を 各種指標厳格にチェック



歴史と文化の町はどうなる

問 身の丈に合った財政運営を行うべきでないか。身の丈とは標準財政規模で、令和3年度は38億6千万円で予算総額は66億円超で標準財政額の約倍近くなっている。予算を青天井の如くならないように注意すべきである。また、近年、ハコモノ建設が多く、完成後の実質債務残高比率、実質的将来財政負担額比率（目安100%）それぞれ1

00%超であり、今後厳しくチェックする必要がある。なお、山梨県美郷町では10月に財政非常事態宣言、このまま進めば7年後には財政破綻することである。**答 町長** 中期財政計画に基づき、「財源確保」と「行政経費の節減合理化」「スクラップ&ビルド」を徹底し、効率的かつ効果的な事務事業の推進等、固定経費の低減化に努める。

**情報通信技術（ICT）の充実強化
各学校の授業等で有効に活用**
問 ICT活用への苦手意識や研修への参加不足等により、本県は全国45位となっているとの報道がある。当町では学校内で情報共有体制の充実強化を図るべきでないか。また、県教委が

チェック表を作成しているが、有効活用すべきでないか。**答 教育長** ICT環境整備・活用委員会が協議・研修及びICT支援員の配置により推進してきている。

これも質問

- 問** 認定こども園での町民説明会を開催すべきではないか
答 事業者を交えて開催する
- 問** 桑折町の歴史と文化を後世へ種徳美術館を保存すべき
答 寄付者に電話で種徳美術館解体の了解を得ている
- 問** 少子高齢化時代において、ライドシェアを導入すべき
答 タクシー会社と連携した「お出かけパス事業」により充分確保できている



質問動画へ

- ◇議員が事前通告した内容に基づいて、一人持ち時間65分で行われます。
◇各問答は、質問者の責任において作成されたものを掲載しています。
◇質問項目は、通告によるものです。
◇一般質問の様子は、桑折町議会ホームページで動画をご覧いただくことができます。

詳しくはこちら



登壇議員	質問項目 ○印の質問の概要を掲載しています。
斉藤 謙 議員 (7ページ)	① 財政運営等に関して ② 認定こども園等に関して ③ 情報通信技術の進捗状況等に関して ④ ふるさと納税経費等の厳格化に関して ⑤ 旧郡役所周辺拠点整備計画等に関して ⑥ ライドシェア等に関して
半澤 高 議員 (8ページ)	① 役場庁舎東側出入口わきの掲示板のあり方について ② 迷惑電話・苦情や抗議の電話への対応について ③ 相続登記・住所変更登記がされていない所有者不明の土地等について ④ 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの感染症対策について ⑤ 都市再生整備計画(第2期)事業、特に郡役所周辺を中心とする歴史文化エリアに関する事業について
羽根田ひとみ 議員 (9ページ)	① 一人でも多くの町民が投票しやすくする為に、駅も投票所に ② 資源紙ごみ。回収された収益が見える化し、町民に還元を ③ 歴史文化エリア巡りにサイクルフェスティバルの復活を ④ 子供たちの健やかな心を育てる子守歌の重要性を伝えるために ⑤ 図書室、地区公民館にフリー Wi-Fi の設置を
鈴木 隆志 議員 (10ページ)	① 幼保連携認定こども園入園に向けての対応について ② 幼保連携認定こども園開園に向けた建築工事の今後の対応について ③ 認定こども園建設予定地の地中埋設物処理に向けての今後の対応について ④ 幼保連携認定こども園開園に向けた資金計画について ⑤ 歴史観光交流センター建設に向けての今後の対応について
川村 滋道 議員 (11ページ)	① 認定こども園の進捗状況について ② 国保税の未就学児の均等割負担について ③ 東電の追加賠償の町民の請求事例について ④ 町役場の個人情報の管理について ⑤ 災害時の臨時FM局設置の必要性について
半沢 正保 議員 (12ページ)	① よりよい生活環境をめざすための課題解決に向けて ② 障がい者・高齢者福祉計画の推進について ③ 短期的・中期的・長期的な教育振興対策について
佐藤 武朗 議員 (13ページ)	① 「史跡桑折西山城跡」の維持管理も含め今後の運営について ② 桑折町老人福祉センター「桑折大かや園」の運営に関して ③ 「桑折まちづくりネット」との取り組みについて ④ 宮繕関係の専門部署設置に関して
川名 静子 議員 (14ページ)	① 人口減少社会において、有効かつ必要な地域福祉計画とするためにどうするか ② 今年度の除排雪計画、特に生活道路について ③ 安心して子どもを預けられる・育てられる環境を1日も早く整えていくため今すべき事は
齋藤 松夫 議員 (15ページ)	① 保育所等民営化政策推進の総括及び民営化政策再検討について ② 蚕糸跡地利活用の事業者選定、基本協定・定期借地権設定契約締結後生じた地下埋設物処理について ③ 都市再生整備計画(第2期)における旧郡役所周辺整備事業について ④ 水道事業ビジョンの具現化について
石幡 政子 議員 (16ページ)	① 環境に配慮したゴミのないクリーンな町づくりについて ② 農地の効率的な利活用促進について ③ シティプロモーション戦略の推進について



半澤 高 議員

規模縮小は目的に合っているか 策定委員会で議論している

問 都市再生整備計画（第2期）事業、特に旧郡役所周辺を中心とする歴史文化エリアに関しては「（仮）歴史観光交流センター」のあり方について、規模縮小や予算縮小が議会において議論されてきたが、本事業の当初の目的に合っているものなのか策定委員会の中で十分に議論してもらいたいと考えているがいかがか。

答 町長 「（仮）歴史観光交流センター」事業については、歴史文化エリアの形成のための拠点として観光交流、情報発信、地域づくりに関する機能を有する施設として整備するとの当初の目的に沿って、規模縮小を前提に第2期都市再生整備計画策定委員会の中で議論してもらっている。



さらなる賑わいを

迷惑電話・苦情電話への対応は「接遇マニュアル」に基づき対応

問 今年8月に福島第一原子力発電所のALPS処理水の海への放出（1回目）が実施されたが、その際に中国からの迷惑電話が各自治体や企業等に殺到したことは記憶に新しい。桑折町役場にも同様の電話があったと聞いているが、その時の対応はどのようにしたのか。通常の業務に影響はなかったのか伺う。

答 町長 ALPS処理水の放出に対する電話については、外国語等によるものが数件あったものの、業務に影響はなかった。電話対応については、「桑折町役場職員接遇マニュアル」に基づき対応するよう指示しており、メールについても同マニュアルに準じ対応することとしている。

これも質問

- 問** 役場玄関わきの掲示場の閲覧環境の改善を
- 答** 他自治体の事例を参考に検討したい
- 問** 相続登記義務化が来年4月から始まるが
- 答** 各種手続きの機会を捉え説明・周知に努める
- 問** 各学校でのインフルエンザ等の感染症対策は
- 答** 基本的な感染症対策の徹底を図っている



質問動画へ



羽根田 ひとみ 議員

駅等への投票所設置の導入を 導入は難しい

問 先般の桑折町議会議員選挙の投票率は54・89%と低かった。特に20代から50代が低い。一人でも多くの町民が投票しやすいように工夫した取り組みが必要と考える。現在の公職選挙法では「駅やショッピングセンターを投票所にできる…」とある。駅に投票所を設置してはどうか。また、バスで移動し投票できる取り組みを検討してはどうか。

答 町長 投票所の増設や移動投票車の導入は、有権者の利便性向上につながるものの、投票管理者や立会人等の確保など課題が多いことから、本町において導入は難しい。

問 投票前に立会演説会の開催はどうか。

答 町長 町が企画するものではない。



投票所にとイメージした場所

紙資源回収収益の還元方法は 資源回収団体の活動報奨金などに

問 次年度4月から紙資源回収が月3回となり、回収された紙資源が町の収益となる。町民が積極的に協力するために、どれぐらい集まり、いくらになったかを公表し、そして、その収益を分かりやすい形で町民に還元すべきと考えるがどうか。

答 町長 紙資源回収については、広報こおりの「ごみ減量化インフォメーション」コーナーで現状を公表するとともに、収益については、資源回収団体の活動報奨金やごみの出し方教室時の啓発資料並びに、一般廃棄物収集運搬料に活用する。

問 回収日等が変わることの周知は。

答 町長 看板を直すとともにお知らせ版のみならず、イベント等でも周知する。

これも質問

- 問** 図書室にフリーWi-Fiの設置を
- 答** 次年度予算で検討する
- 問** 「子守歌」の対話集会を
- 答** これまでの取り組みプラス検討
- 問** サイクルフェスティバル復活を
- 答** 活動団体を支援する

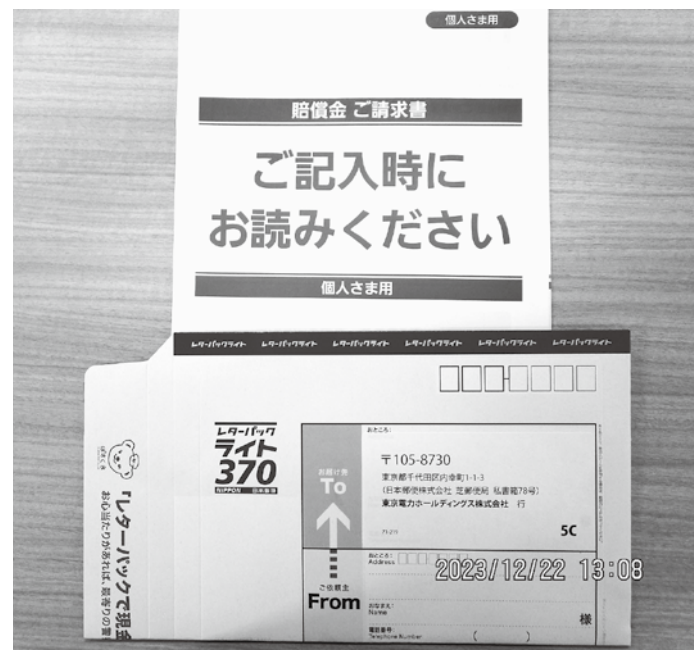


質問動画へ



川村 滋道 議員

東電による追加賠償対応について 東電に対応させるよう要請する



東京電力の請求書は届いてますか

問 10年余の生業裁判の結果追加賠償が確定した。現時点で追加賠償の請求は該当者の4割程度で、原因は前回の請求から10年以上経過し住所変更、結婚、死亡、遺産相続手続きがまだ等々で請求がされていない事が判明した。桑折町民1万人8億円が支払い対象だ。該当者全員がもれなく受けられるように東電の担当者を役場に一定期間常駐させ町民の請求事務を援助するよう、町長が東電に要請すべきと考えるが如何か。

答 町長 私も引越した為請求書が届いていない。町民の対象者全員が賠償を受けられるように東電担当者に対応して頂くように要請したい。



鈴木 隆志 議員

認定こども園敷地内地中埋設物の処理は 工事に影響がないよう年内に決定していく



商業施設建設は進んでいるが

幼保連携認定こども園の地中埋設物処理に向けた今後の対応について、次の点伺う。

問 松葉福祉会から処理費用全額町負担として求められた根拠は何か。

答 町長 町所有地から地中埋設物が確認された。処理費用は所有者である町に責任があるとの見解による。

問 町といちいが、事業用定期借地権設定契約し、いちいが、松葉福祉会に事業用途として貸出している。処理費用負担は。

答 町長 説明に対応できるように見解に努め協議している。

問 いちい敷地内のコンクリート殻等の地中埋設物処理費用は。

答 町長 いちいが全額負担して処理している。

問 弁護士 の指導及び判例を参考として協議しているのか。

答 町長 説明に対応できるように見解に努め協議している。

旧伊達郡役所周辺の今後の整備計画は 都市再生整備計画第2期計画で対応していく

旧伊達郡役所周辺を中心とする歴史文化エリアの今後の整備計画について、次の点伺う。

問 種徳美術館解体後の跡地の整備は。

答 町長 第2期都市再生整備計画策定委員会でも今後議論していく。

問 大型バスを含む駐車場スペースの確保は。

答 町長 A地、ポケットパーク、種徳美術館解体跡地等、旧伊達郡役所周辺の確保に努めていく。

問 仮称、歴史観光交流センターの建設予定地は。

答 町長 種徳美術館解体跡地等旧伊達郡役所を中心としたエリアであればA地以外でも建設可能で今後協議していく。

問 旧伊達郡役所の今後の利活用は。

答 教育長 歴史文化エリアの拠点として、建物公開や各種イベント開催等を通じて、効果的な活用を図っていく。



質問動画へ

これも質問

問 保護者・町民向け認定こども園説明会開催は

答 具体的なスケジュール確定後に開催する

問 認定こども園建築工事開始時期の遅れは

答 資材高騰等により設計変更が必要となった

問 認定こども園の安定経営に向けた資金計画は

答 設計変更後の本申請時において再度確認する

健保の子供の均等割り軽減を伺う

国の方針に順じて対応していく

問 桑折町では未就学児の均等割保険額は令和4年32人で4万8,930円、小学1年から18歳まで260万199円となっている。

問 令和4年から国による半額軽減措置が実施された。県内では白河市、二本松市、南相馬市が県内でも均等割り負担分の財政措置を行っている。この措置は子育て世帯には大きな援助となる。桑折町では40

答 0万円の措置で18歳までの均等割り負担が無償となる。県内4番目の無償化に踏み込んで頂きたい。令和4年から国による半額軽減措置が実施されている。制度導入以前より軽減措置の拡充を図っている自治体がある事は承知している。財源問題もあり国の方針に順じて対応していく。

これも質問

問 認定こども園の進捗状況を伺う

答 12月中旬に国や県から補助金の回答が出される予定

問 住民基本台帳の情報管理状況を伺う

答 アクセス権限を厳格にして運用している

問 臨時災害FM放送局の必要性を伺う

答 自治体情報システム（レアポート）で対応



質問動画へ



佐藤 武 朗 議員

「桑折大かや園」の運営の方向性は 老朽化対策を併せ、新たな方向性を



周辺を含めた新たな利活用を

問 「桑折大かや園」は昭和60年4月に老人の「健康増進」「教養の向上及びレクリエーション」等、老人の福祉向上を図るための施設として開設、38年が経過。利用者から大変好評を得ている。しかし、時代の急激な変化のなか今後とも運営・監理は現状の延長戦ですすめられるか。また、新たな施策等は計画されているものか伺う。

答 町長 築38年経過しているが、当面、高齢者福祉の推進に資する施設として活用を図る。「史跡桑折西山城跡」をはじめ県天然記念物の「万正寺の大力ヤ」や「ホタル」等、歴史と自然に恵まれていることからポテンシャルが高く、観光及び交流人口の増加も期待できる地域である。今後は、町内唯一の温泉施設として、老朽化対策を併せ町民はもとより、来町者の休憩や交流の場としても活用いただけるよう、新たな施設の方向性について検討する。



半 沢 正 保 議員

未来躍動プラン・学校教育の推進 義務教育学校の創立に向けて



半田醸芳小学校150周年記念式典

問 「環境が人を創る」「教育は人なり」と言われる。子どもたちに安心できる教育環境を長期的に整え準備することが、我々大人の使命である。少子高齢化の問題への対応の一つとして、町長はじめ役場職員並びに議会議員が中心軸となり、桑折町が安定して存続していくように、先送りすることなく取り組まなくてはならない課題でもある。

答 町長 来年度には様々な立場の関係者の参加を得て検討委員会を設置し、少子化対応や小中一貫教育等の観点から総合的な検討協議を進める。

住民の生活環境の整備・充実

協力できる心豊かなまちの具現

問 各町内会において、日々の生活ごみの不適切な放置が課題となっている。桑折町廃棄物減量等推進審議会において、ごみ排出量の削減ならびに各町内会「ごみステーション」の課題の解決策を伺う。

答 町長 ごみ出しマナーの遵守については、生活環境の向上に向けて重要であることから、行政連絡員の皆様と意見交換しながら効果的な政策を検討していく。なお、過去5年審議会は、開催されていない。今後は、審議会を開催し、ごみの減量の問題等について十分に検討し解決策を提案していきたい。

これも 質 問

問

献上桃の郷おでかけパスの利用状況

答

登録者1038名、年々増加傾向



質問動画へ

「有料草刈ボランティア」の設置は 「守る会」と連携し検討を進める

問 「全国山城サミット桑折大会」を盛大に実施、「伊達氏発祥の地」として全国にアピールができた。その後も町内外から多くの来訪者があり、来訪者の好印象を得るためにも年間を通して、史跡の景観維持を図る施策は。

答 町長 西山城の草刈りについて、現在、年2回の「桑折西山城を守る会」主催のボランティアと、町発注による急傾斜地の業者委託を行っている。年間を通じた景観の維持には十分でないため、第3回定例会の一般質問の議論において、議員より提案のあった有償ボランティア制度導入も視野に、「守る会」と連携し検討を進めている。

これも 質 問

問

「まちづくりネット」との発展的な取り組みは

答

連携強化、地域おこし協力隊の活用も調査研究

問

営繕関係の専門部署の設置の検討は

答

専門的な技術者の確保が難しく設置は困難



質問動画へ



川名 静子 議員

策定には「住民の参画」が必要では 意欲が高まるよう主体的に取り組む

本計画の趣旨に「生活課題が増大、多様化する中、今の制度化された公的なサービスで、全てに対応するのは限界になっている」とある。今後において、地域の課題は地域で解決するために自助・共助・公助がなすべきことは何か伺う。

問 一次計画策定時の調査から出た課題は解決されたか。

答 町長 各種団体と連携し参画に意欲が高まるよう主体的に取り組んでいく。課題はまだある。

問 町民はこの計画を、我が事と理解しているか。

答 町長 社協に生活支援コーディネーター11名を配

置し、地域に向くなど理解を得るための周知に努める。

問 人権・福祉教育の推進からどのような効果があつたか。

答 町長 アンケートに「身近な不自由者に対し手助けができる」等の回答からも意識の醸成に繋がっている。

問 社会的孤立者対策として「見守りネットワーク」は機能しているか。

答 町長 福祉の立場から、弱い立場の生活、幸せを守るため、計画に理念と方向性を示している。福祉への役割を果たすのは行政だが、一人ひとりの努力も必要だ。



地域の課題解決に
わたしたちができることは

地域に核となる除雪体制を 住民や団体等へ理解を求める

職員や町内委託事業所が主要道路から除雪作業が始まる。生活道路は地域で解決できないか伺う。

問 除雪ボランティアは地区により偏りがあるのでは。

答 町長 昨年末で桑54、睦4、半35、伊34。地区により状況が異なるためだ。

問 地区の状況をよく知る人達だからこそ核となり地域で除雪を完結できないか。

答 町長 生活道路や歩道については「共助」により実施できるよう理解を求める。

これも 質問

問 「認定こども園」設計変更の国回答は

答 12月中了承されなければ事業遂行は困難だ



質問動画へ



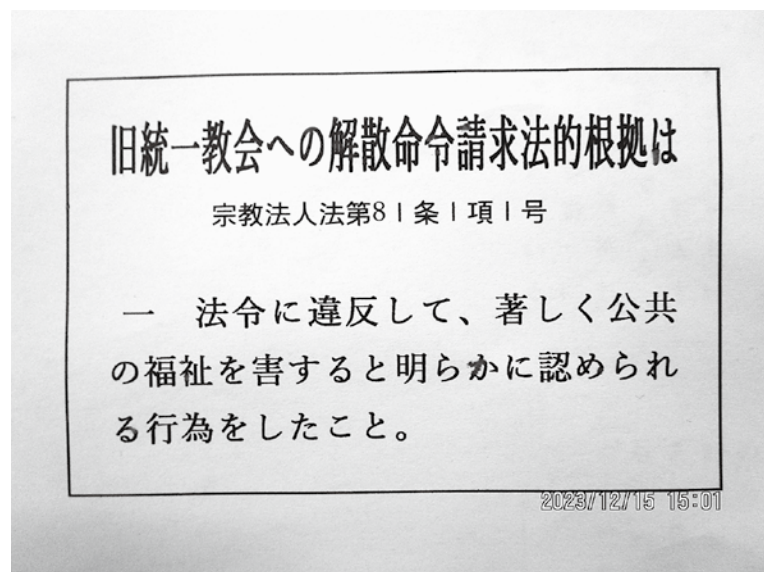
齋藤 松夫 議員

教育重視の町の誇りどうなる 民営化方針に変わりはない

問 町民合意無しですすめた保育所等民営化政策は、資材高騰による設計大幅見直しと、当該法人の代表が関係していた旧統一教会に對する解散命令請求で、重大局面を迎えた。しかも解散命令請求の法的根拠は、宗教法人法第81条である。これでは「教育重視の町桑折の誇り」はどうなるのか。いまや民営化政策の誤りは

明らかであり、速やかに民営化政策を断念し、当初の第2期こども子育て支援事業計画で掲げた町営方針に戻すべきだ。所見はどうか。

答 町長 令和3年8月10日の政策会議決定「幼児保育・教育のあり方に関する町の方針」に基づき、民営の認定こども園に移行する考えに変わりはない。



3億5千万円縮小の対象事業は 歴史観光交流センター事業だ 計画の見直しに着手したい

問 旧郡役所周辺整備事業縮小についてだが、11月13日の全員協議会で「規模縮小の方向で進める」旨の説明がなされた。その際11億円、7億円の予定事業費を、「3億5千万円まで縮小」と答弁した。

この答弁は観光交流センターを対象としたものか、それとも全体事業費をそこ

まで縮小するということか。いずれかを伺う。

答 町長 「3億5千万円まで縮小」と説明したのは、歴史観光交流センター事業費の縮小のことである。第2期都市再生整備計画事業費は、この3億5千万円に、それ以外の都市再生整備事業費を加えたものとなる。

これも 質問

問 埋設物処理費町負担の法的根拠は

答 顧問弁護士の指導で対処

問 簡易水道との統合時期は

答 令和8年度の基本計画で示す



質問動画へ



石 幡 政 子 議員

上半期のごみ減量化の成果は 出前講座等で減少傾向にある

問 10月号広報こおりで町民一人当たりのごみ排出量を確認したが、全国平均と比較するとまだまだ多い。今年度は出前講座等新たな取り組みも実施されているがその成果をどのように分析しているのか。

答 町長 本年度は各地区での「出前講座」や「広報こおり」による周知等で減少傾向にあるが、今後もごみ回収時の分別指導を徹底していく。

問 補助事業に関してはコンポストや電動生ごみ処理機の購入時の補助金制度がある。家庭用生ごみ処理機の有効制を更にPRし活用をすすめていく事でごみの減量化ははかれると考える。

答 町長 電動生ごみ処理機については今年度より補助対象としたがコスト面から普及に至っていない現状である。減量化に向けた手段の一つとしてPRに努めていく。



小学校でのごみ分別教室も成果をあげる

「人・農地プラン」見直し計画策定は 地域計画策定「目標地図」を作成する

問 今年度から「農業経営基盤強化促進法」の一部改正にともなう地域計画の策定をすすめているが、新たな追加項目について伺う。

答 町長 地域計画については、これまでの「人・農地プラン」を基に「地域農業の10年後の在り方」を定めるため、農地の集積・集約を図る「目標地図」の作成が新たに加った。

問 新規就農者については、若者に対する支援は手厚いものがあるが、脱サラや退職後のケースについて、町独自の支援事業はあるか伺う。

答 町長 町独自の支援には、65歳以上の新規就農者に対する補助金等、国の制度を超える支援事業がある。

これも 質 問

問

SNSを活用した情報発信は

答

他団体との連携も活用し内容を充実させていく



質問動画へ

委員会報告

総務文教常任委員会 委員長 斉藤 謙

当委員会は、①「認定こども園」の進捗状況②少子化時代の学校教育のあり方③その他の3項目を調査事件として調査研究している。

①「認定こども園」の進捗状況に関しては、国・県の認可が12月に決定されるという事で、認可決定を町が待っている状況である。

②少子化時代の学校教育のあり方に関しては、統計資料や教育委員会からの資料等収集し、まずは町内の実態把握に務めている。

産業厚生常任委員会 委員長 佐藤 武朗

当委員会は、付託された陳情2件に対し審査を行った。1件目の「すべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める陳情」については、全会一致で採択。別ページ掲載の意見書を取りまとめた。2件目の「健



広報広聴常任委員会 委員長 半沢 正保

本委員会の活動は、編集会議を開催し、議会議員選挙後、議会だより令和5年臨時号を発行した。

「議会報告会・意見交換会」をイコーゼ！において、同日・同内容で2回開催した。数多くのご意見・ご要望をいただき、たいへん有意義な時間を過ごすことができた。詳細については、次ページをご覧ください。

議会運営委員会 委員長 半澤 高

当委員会では、①議会基本条例第20条に基づく検証および②一般質問のあり方についてを閉会中の主な調査事項として取り上げ調査を進めている。①については、これまでの議会活動において議会基本条例が機能しているか第1条から第19条までつぶさに調査して条例の目的達成へと導いていく予定である。②については、改選前にも調査事項として進めてきたが、イン

町村議会議員研修会

日時 令和5年10月23日(月) 13:00～16:00
会場 ビッグパレットふくしま1F コンベンションホール

福島県町村議会議長会主催の研修会が開催され11名の議員が出席した。

はじめに「議会改革・議会活性化のための議員活動」自治体議員は自治体議会をどのように取り扱って行くべきか」と題して、東京大学大学院法学政治学研究所教授・金井利之氏が講義した。

印象に残ったことは「行政職員は、首長の部下にとどまらず、全体の奉仕者であり議員に対して、同様に奉仕すべきである。議員は、行政職員との日常的対話・議論によって支援を勝ち取る必要がある」とのことからも、よりよい町づくりのためには、行政職員の支援が必要となることを再



議会報告会・意見交換会

日時 令和5年11月26日(日)
第1回目／14:00～
第2回目／18:00～
場所 桑折町イコーゼ！
参加者の状況

地区	昼の部	夜の部	計
桑折	9	6	15
睦合	8	5	13
伊達崎	14	1	15
半田	12	7	19
未記入	7	8	15
	50	27	77

(含 議会モニター6名)

12名の議員の方々より、選挙公約について詳しくご説明をいただきました。その後、意見交換が行われました。
参加された皆さまからのご意見・ご質問を紹介させていただきます。

○これから4年間、町の発展に努力していただきたい。公約発表良かった。
○認定こども園に賛成した議員に賛成理由を伺いたい。
○人口が減る中で、人口が増えている自治体がある。桑折町の人口が減らないよう

に町の活性化を。

○こども園について伺う。役場庁舎はお金かけて、保育所にはお金かけないって変です。利用する保護者が安心して預けられるよう公営のままであるべき。民間だと追加料金がかかるなど不安なことが多い。

○選挙投票前にこのような会を開いてみなさんの公約を聞きたかった。岡本議員は何をやったかったのですか。

○パートナーシップについて、どうお考えですか。

○選挙公報に挙げられた公約をぜひ実行していただきたい。

○簡易水道利用者は困っているので早く進めてほしい。

○羽根田議員の要望のシステム化はどういう政策ですか。

○岡本議員は何のために立候補され、今後4年間、何



いになるが、マクロの問題に取り組んでほしい。
○桑島公民館以外の3地区公民館は火・木・土の週3日のみの開館になった。その後も変わらない。地元の有償ボランティアに管理をお願いして以前のように開館できないか。
○有償ボランティア検討などして、4地区の公民館の以前のような開館になるよう、議員のみなさんにお願

○11月10日の会議で除雪機の補助をお願いした。(60万のうち20万の補助)議会でもバックアップしてください。貯金ばかりでなく有効に活用してはいいかがか。



○ジェンダーの問題、桑折はまだまだ。伊達市はパートナーシップ登録した。桑折町はいかがか。
○人口減少防止のために婚活支援を近隣の自治体と協力してやってほしい。また、働く場所を誘致してほしい。
○エリザベスタウンとの交流留学を戻したらどうか。
○人口増加のために住宅地を増やしてみたいかがか。
○みんなに話す機会を与えてください。
○質問者が多数で質問しきれないので、あらかじめ質問を集めてはどうか。
○秋田市水道で農薬検出の報道があり、桑折町は大丈夫かと思っている。

公立藤田病院組合

選出議員

齋藤 謙
齋藤 松夫
鈴木 隆志

臨時議会開催される

去る11月1日議会が開催された。

議案は

1 副議長の選挙

副議長の選挙は議長の推薦で桑折町議員 齊藤 謙氏が推薦された。

2 令和4年度病院事業会計決算認定等に関して

令和4年度病院事務会計決算認定等は1億9,092万8千円の黒字決算となる。

3 その他

(1) 職員の駐車場の整備

(2) 職員宿舎の建設

(3) 高規格救急自動車の設置
に関して話し合わせられ議会の承認を得る。

伊達地方消防組合

選出議員

川名 静子
佐藤 武朗

伊達地区住民の安全安心を守る

現在建設が進んでいる西分署改築工事の完成が、2か月程延長となった。要因は今年夏の猛暑と冬場に跨るため。また、消防本部が東根川、伝樋川の洪水浸水区域に指定され、浸水防止対策を図ることになった。

救急出動件数も年々増加しているが、誘導心電図伝送システムを運用するなど、治療開始までの時間短縮を図っている。その任に当たる救急救命士の有資格者は52名になった。住民が安全・安心で暮らせる消防活動に日夜取り組んでいる。

伊達地方衛生処理組合

選出議員

半澤 高
石幡 政子

桑折町との協定書承認される

令和5年11月1日に定例会を開催し、専決処分報告・承認と、一般会計、し尿処理事業特別会計、ごみ処理事業特別会計の令和4年度決算認定と令和5年度補正予算について審議・採決し全会一致で可決した。

なお、桑折町との「伊達地方衛生処理組合ごみ焼却施設等の運営等に関する協定書」の一部修正案が示され承認に至った。

福島地方水道用水供給企業団

選出議員

原 賢志

決算報告される

収益的収支(消費税抜)は、水道用水供給事業収益41億3,335万5,315円に対し、水道用水供給事業費用40億4,627万6,138円で、収支差引額8,707万9,177円が当年度純利益となり、前年度繰越欠損金15億2,319万8,564円に当年度純利益を加えた14億3,611万9,387円を、未処理欠損金として翌年度に繰越した。

資本的収支(消費税込)は、資本的収入0円、資本的支出16億6,800万9,954円となり、資本的収入額が資本的支出額に不足する額16億6,800万9,954円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,012万1,900円及び過年度分損益勘定留保資金16億3,788万8,054円で補てんした。

令和4年度 一部事務組合への町負担金

単位：千円

区分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
公立藤田総合病院	58,275	58,485	59,743	91,834	75,326
伊達地方消防組合	222,270	208,482	208,724	209,554	203,440
伊達地方衛生処理組合	81,135	72,113	74,295	73,789	69,095
合 計	361,680	339,080	342,762	375,177	347,861

◆一部事務組合とは

行政の能率化、効率化を図るため、特定の事務を関係市町村で共同処理する方式です。

町が出資している法人の経営状況報告

一般財団法人 桑折町振興公社

新型コロナウイルス感染症の影響は2020年2月以降急速に落ち込み宴会需要が急減し回復に至っておらない。6次化商品については昨年7月の値上げ以降も売り上げは前年比を確保し新商品「至福の桃キャンディ」発売で売上改善に引き続き努めていく。

町補助事業：一般財団法人桑折町振興公社運営費補助金・事業費
757万9,916円(内補助金750万円)、実施日：令和5年4月1日～令和6年3月31日・内容「桑折町振興公社の人材確保・組織強化に対する補助を通して、地域振興事業、観光誘客促進事業

の充実を図る」

質疑

Q ピザ・スタ食事代が予算比実績が38%と振るわない。メニューに週1回の麺類を多くするとか昼食時の単価を抑える工夫も必要ではないか。

A 引き続き経営改善に努めたい。

令和5年度「ピザスタ」売上・利用者状況報告

(上半期 4月～9月)

項 目	内容等		令和5年度 (上半期)	令和4年度 (上半期)	比較増減	対前年比
レストラン	来店者数	男	－	2,468人	－	－
		女	－	4,666人	－	－
		計	7,053	7,134	△81人	98.9%
売 上 高	物 産 品 売 上		540,189円	435,285円	104,904円	124.1%
	飲 食 売 上		16,301,862円	21,088,922円	△4,787,060円	77.3%
事業仕入高	原 材 料 費		4,545,124円	6,540,469円	△1,995,345円	69.5%
			27.88%	36.01%	△3.13%	89.9%
人件費支出	人 件 費		6,014,481円	5,767,390円	247,091円	104.3%
			36.89%	27.34%	9.55%	134.9%
体 験 事 業	ピザ作り体験		9回	3回	6回	300.0%
			119人	33人	86人	360.6%



ピザ作り体験

損益計算書

(単位：円)

項 目		令和５年度	令和４年度	項 目		令和５年度	令和４年度
1	事業収益			4	事業外収益	44	64
	(1)公有地取得事業収益	0	0		(1)受取利息	44	64
					(2)雑収益	0	0
2	事業原価	0	0	5	事業外費用		
事業総利益		0	0		(1)支払利息	0	0
3	販売費及び一般管理費	1,320	1,320	経常損失		1,276	1,256
				6	特別損失	0	0
事業損益		1,320	1,320	当期純損失		1,276	1,256

土地開発公社桑折町事務所

令和5年度は事業執行状況報告書では、新規事業は実施しておらず、特に問題はない。

議会だより—20

議員活動狀況報告

令和5年9月13日～令和5年12月11日

活 動 状 況		対象者
9月13日	令和5年度桑折町青少年育成町民会議大会	議長 委員長
9月14日	令和5年度西根神社秋季例祭齋行	議員 出 委
9月15日	広報広聴常任委員会	議員 出 委
9月19日	例月出納検査	議員 出 委
9月19日	広報広聴常任委員会	議員 出 委
9月22日	醸芳小学校創立150周年記念式典	議長 議員
9月24日	令和5年度桑折町PTA連絡協議会親善球技大会	議長 議員
10月1日	令和5年度琴平神社例大祭	議長 議員
10月2日	令和5年度桑折町児童SDGs推進環境保全啓発作品コンクール審査会	議長 議員
10月3日	広報広聴常任委員会	議長 議員
10月5日	宮崎県国富町議会政務研修来庁	議長 議員
10月5日	桑折町表彰事案審査委員会	議長 議員
10月5日	桑折町小・中学生「税に関する作品コンクール」審査会	議長 議員
10月6日	広報広聴常任委員会	議長 議員
10月7日	醸芳幼稚園運動会	議長 議員
10月10日	福島県町村議会議長会 正副会長会議	議長 議員
10月10日	福島県町村議会議長会 理事・監事合同会議	議長 議員
10月11日	桑折町議会議員選挙後初議会前打合せ会	議長 議員
10月12日	伊達郡町村議会議長会 要望活動	議長 議員
10月16日	議会全員協議会	議長 議員
10月16日	令和5年第5回桑折町議会臨時会	議長 議員
10月19日	伊達地方衛生処理組合議会全員協議会	議長 議員
10月19日	広報広聴常任委員会	議長 議員
10月21日	令和5年度各地区小学校学習発表会	議長 議員
10月22日	桑折町消防団検閲	議長 議員
10月23日	福島県町村議会議長会町村議会議員研修会	議長 議員
10月24日	桑折町小・中学生「税に関する作品コンクール」審査会	議長 議員
10月24日	総務文教常任委員会	議長 議員
10月24日	産業厚生常任委員会	議長 議員
10月24日	議会運営委員会	議長 議員
10月26日	議会運営委員会	議長 議員
10月26日	議会全員協議会	議長 議員
10月26日	令和5年第6回桑折町議会臨時会	議長 議員
10月26日	広報広聴常任委員会	議長 議員
10月28日	桑折町文化祭	議長 議員
10月29日	上町ハロウィン2023	議長 議員
10月30日	伊達地方消防組合議会全員協議会	議長 議員
10月30日	令和5年第4回伊達地方消防組合議会定例会	議長 議員
10月31日	議会全員協議会	議長 議員
11月1日	伊達地方衛生処理組合議会全員協議会	議長 議員
11月1日	令和5年第2回伊達地方衛生処理組合議会定例会	議長 議員
11月1日	公立藤田病院組合議会全員協議会	議長 議員
11月1日	令和5年第3回公立藤田病院組合議会定例会	議長 議員
11月3日	旧伊達郡役所・誕生祭～タイムスリップフェスタ～	議長 議員
11月7日	総務文教常任委員会	議長 議員
11月7日	産業厚生常任委員会	議長 議員
11月7日	ふくしま駅伝桑折町チーム選手壮行会	議長 議員
11月13日	議会全員協議会	議長 議員
11月14日	総務文教常任委員会	議長 議員
11月19日	第35回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会	議長 議員
11月20日	桑折町表彰式	議長 議員
11月21日	半田醸芳小学校創立150周年記念式典	議長 議員
11月25日	堀内知佳SDGs講演会	議長 議員
11月26日	議会報告・意見交換会	議長 議員
11月27日	議会運営委員会	議長 議員
11月28日	伊達郡町村議会議長会議	議長 議員
11月28日	伊達郡振興懇談会兼歓送迎会	議長 議員
11月29日	第67回町村議会議長全国大会	議長 議員
11月29日	令和5年度町村議会議長全国研修会	議長 議員
11月30日	令和5年度国見町・桑折町交通安全町民大会	議長 議員
12月1日	桑折町議会議員OB会新会員歓迎会	議長 議員
12月3日	JR桑折駅前イルミネーション点灯式	議長 議員
12月5日	議会全員協議会	議長 議員
12月5日	令和5年第7回桑折町議会定例会	議長 議員
12月5日	産業厚生常任委員会	議長 議員
12月6日	議会全員協議会	議長 議員
12月6日	令和5年第7回桑折町議会定例会	議長 議員
12月7日	議会全員協議会	議長 議員
12月7日	令和5年第7回桑折町議会定例会	議長 議員
12月11日	議会全員協議会	議長 議員
12月11日	令和5年第7回桑折町議会定例会	議長 議員
12月11日	広報広聴常任委員会	議長 議員

詳しくは、こちらから



議会モニターの皆さまの「議会だより」秋号VOL.134
のご感想等をいただきました。

ありがとうございました。これからの紙面づくりに生
かします。

町民の声

Q1 表紙・裏表紙の構
成はどうでしたか？

○背景に対して、オレン
ジの文字が見づらかった。
○写真はテーマを感じら
れてよいが、わざわざ横
にする手間があるため、
縦の構成を継続してはど
うか。

○表裏とも写真から考え
させられた方も多いので
はないかと思う。

Q2 「議会だより」P2
～9までの構成はどうで
したか？

○グラフや表で表したの
は、とてもわかりやすく
よかった。DXやシティー
プロモーション等につい
てわかりづらい専門用語
へは説明があったほうが
よかった。（高齢者等へ
の配慮）

○P8～9は記事を詰め
込みすぎだと思う。文字
が小さく読みにくかった。

Q3 「議会だより」P10
～19一般質問の構成はど
うでしたか？

○議会の内容が簡潔にま
とめられていた。

○現在の構成でよいと思
う。

○各議員のページにQR
コードがあるが、補足説明
文があった方がよい。

○各委員会活動報告の最
初の数行をグラデーション
にしたので読みやす
かった。

Q4 読んでいただける
「議会だより」にするため
に？

○表紙と同様、写真はカ
ラーがよい。

○若い世代に見てもらい
たいのであれば、若い世
代が興味関心のあるタイ
トルに大きく表示すると
よいのでは。

○読み手を考えて、文字
は大きく、読みやすいも
のにする。

○ところどころに、何？
という箇所があるので、
「ミニ知識」のコーナーの
ようなものを設ける。

○QRコードがあるが、
QRコードの意味や使い
方わからないかたもい
らっしゃるので、それら
の説明文を掲載した方が
よい。

編集後記

表紙の写真は、第32回JR桑折駅前イルミ
ネーションです。

今回は、福島西高デザイン学科1年生た
ちが町内を見学し各所をイメージした総合的
な作品となっています。

町を明るく元気にする「冬の風物詩」をぜひ
ご覧ください。

新しい議会構成が決まり、「町民のための
議会改革」をめざし議員活動がスタートしま
した。議会だよりも新しい編集委員が決まり
文字を大きくするなど、見やすくわかりやす
い紙面構成にしていこうと検討しています。

半沢 正保

■広報広聴常任委員会 編集委員

委員長 半沢 正保 委員 鈴木 隆志

副委員長 石幡 政子 委員 川村 滋道

まちの歳時記 ～旧伊達郡役所140周年 桑折プライド～



議会だより

令和6年1月17日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 原 賢志
編集 議会広報広聴常任委員会
電話 (024)582-2113
印刷 株式会社日進堂印刷所

<https://www.town.koori.fukushima.jp>